

# 研修だより

## No.3

カモカモ学級 秋山先生授業・国語科「新聞をつくろう」

6年1組 板矢先生授業・国語科「聞いて、考えを深めよう」

7月8日にカモカモ学級担任秋山先生、9日に6年1組板矢先生の学級で全校研が行われました。特別支援ブロック、高学年ブロックそれぞれで「できた！わかった！成長した！を実感させる学びのデザイン」に向けて、単元や本時の見通しをもったり、個別目標をふまえた振り返りをしたりできるように授業内容がよく検討されていて、本校の研究が深まるような授業でした。また、暑い中、参観者が多い中での授業でしたが子どもたちもよく頑張っていました。事後研で出た意見などをまとめましたのでぜひご覧になってください。



見通しがもてる  
視覚的な手立て

子どもに寄り添う・待ちの姿勢を大切に！



【事後研から】※一部抜粋 詳しくはロイロノート（校内研修）参照

- 単元・本時の見通しがもててよかった。
- 教師の言葉掛けや待ちの姿勢がよかった。
- 次時につながる振り返りの言葉が個人目標につながってよい。
- 板書や流れがすっきりまとまっていた。
- 動画を撮影して客観的に見られたことがよかった。
- 子どもの言葉で課題が作られていた。
- △ICTを活用して、資料などを視覚化するとさらによい。
- △決めることが目的になってしまった面があったので、「自分のしたいことを生かせるためには？」と進めると、自分事として捉え、振り返りが目指したものになったのではないかと。
- △子どもの意見（言葉）にもっと注目できるとよかった。
- △子どもにとって魅力ある題材の設定。
- △子どもが考えを分類してもよかったかも。

【まとめ】今後に向けて

- ・個別目標を毎時間立てるのが難しければ、小単元から。
  - ・言語活動の必然性や魅力のある題材決めが、必要。
  - ・特支は子どもの実態に合わせた目標設定や計画から学習内容を決める。
  - ・通常学級は学習内容から教科の特性を生かし、実態にすり合わせていく。
  - ・教師は子どもに委ねる時間を増やし、待ちの姿勢を大切にする。
- できることから少しずつでも取り組んでいきましょう！

秋山先生、板矢先生お忙しい中、ありがとうございました！